

Vol.205

今回の主な内容

- ここが聞きたい一般質問……2
- 決算特別委員会・7月31日緊急会議審査内容……5
- 常任委員会・決算特別委員会分科会審査内容……6
- 議案等の審議結果……7
- 委員会の調査報告・提言……8
- 9月定例会議先議ほか……10



9月定例会議を開きました <9月1日～9月18日(18日間)>

9月1日 開会

本会議・委員会

- ・市長から議案24件、報告9件を提出後、提案理由を説明
- ・先議議案の審議、常任委員会審査、採決

9月7日～9日

本会議(一般質問)

14人の議員が登壇し、議案や市政の諸課題に関して質疑、応答

2～4ページ

9月10日～11日

常任委員会

議案や請願・陳情を審査

9月9日・14～16日

決算特別委員会

令和元年度の決算などを審査

5～6ページ

9月18日 閉会

本会議

- ・各委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決
- ・追加議案の審議、討論、採決
(期間中追加議案9件)

7ページ

議会トピックス

令和2年 秋季 議会報告会・意見交換会を開催

- 11/10(火) 14時～15時
吾妻学習センター 2階研修室
- 11/11(水) 18時～19時
飯野学習センター 2階ホール
- 11/13(金) 14時～15時
信陵支所 2階大会議室
- 11/14(土) 13時30分～14時30分
三河台学習センター 2階ホール

※必ずマスクを着用願います。
4ページもご覧ください。

◎7月31日に新型コロナウイルス感染症関連等緊急会議を開催 ※詳しくは5ページへ

◎議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正 ※詳しくは10ページへ

◎政策提言書を市長に提出 ※詳しくは8～9ページへ

・人口減少等の社会変化を見据えた持続可能な行政の在り方に関する提言

・健都ふくしま実現に向けた健康づくりの取組に関する提言

・古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する提言

・道路の効率的な維持管理・安全対策に関する提言



◎ICT活用検討会を設置 ※詳しくは9ページへ

ここが聞きたい!

一般質問Q&A

一般質問とは?
議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。



行財政

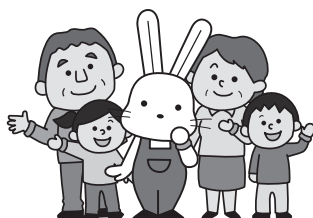


原発事故の汚染水の海洋放出に本市も反対の声を

山田 裕

Q 東日本大震災、原発事故、台風被害、新型コロナウイルス感染症拡大の四重苦に加え、原発事故の汚染水の海洋放出は、市民へ苦難を押しつける五重苦となるため、汚染水の海洋放出に本市も反対の声を上げるべきと考えるが、市の見解は。

A 保管が長期化することにより、福島だけがリスクが増えていく構図は、避けなくてはならないと考える。四重苦に加え、長期保管による五重苦を避けるためには、福島県外での海洋放出が現実的である。



電子回覧板の実証実験

根本 雅昭

Q スマートフォンやタブレット端末で閲覧できる電子回覧板の導入に向け、まずは地区を限定した実証実験を実施してはどうか。

A ICTを活用した町内会運営は、情報伝達などに非常に有効であり、今後導入して行かなければならない。ICTの活用に関心を持つ町内会に対し、機器の普及状況などを確認しながら、電子回覧板の機能、見守り活動での活用、ICT機器を持たない市民への対応など地域の実情に応じた電子町内会の運営について検討し、今年度内に対象とする町内会を募集決定し、モデル事業を立ち上げたい。



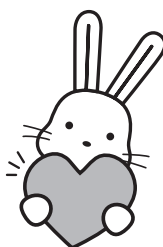
市旅館ホテル協同組合との協定締結

羽田 房男

Q 避難所における新型コロナウイルス感染症対策の一環として市旅館ホテル協同組合と協定を締結したが、締結までの経過と協定締結の内容は。

A 妊産婦など特に配慮が必要な方が、災害時に速やかに避難で

きるよう市旅館ホテル協同組合などと受け入れ方法の協議を重ね、8月31日に協定を締結した。協定の主な内容として、宿泊・食事の提供や避難者の受け入れ状況の報告の協力、受け入れ対象者を妊娠28週目以降および産後2カ月までの妊産婦、医療的ケア児とその家族とすることなどを盛り込んだ。これにより、これまで避難をためらわれた方がちゅうちよなく避難していただける



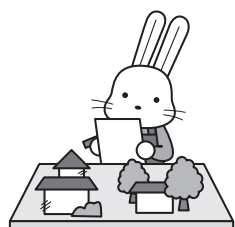
市民にわかりやすい

災害対応の表現を

小熊 省三

Q 第6次福島市総合計画素案の案の危機管理・防災減災体制の充実の項目中「被災した場合でも迅速に回復できるしなやかさをもつ」の表現は、市民にわかりにくく、災害時の表現としてそぐわないのでは。

A 災害対策には、強さはもちろんのこと、迅速に回復できるしなやかさ、状況に応じ柔軟に対応し多様なニーズに応えるしなやかさが求められることから、しなやかさという言葉は災害対応の重要なキーワードであると考え



くらし・安全

女性視点での

防災・減災の取り組み

佐原 真紀

Q 男女共同参画社会における災害対応強化のための女性視点での防災・減災に向けた取り組みは。

A 防災分野における女性参画促進のため、防災会議委員を構成する機関や団体などに対し、女性の参画を促すよう努めており、構成割合が増加傾向にある。

また、機能別団員として女子学生の消防団員が入団予定であるとともに、市の人事でも防災分野における女性職員の配置や女性消防士を採用し、女性の視点が反映されるよう努めている。地区防災訓練や防災講話への女性の参加者も多く、男女共同参画の視点に立った市民全体の防災意識の向上に向けた事業の実施に努める。



摺上川ダム管理所との

情報交換など

白川 敏明

Q 大雨の際、摺上川ダム管理所との情報交換などは行われているのか。



A ダムへの流入量が毎秒100立方メートルを超えることが予測された時点から、ダムへの流入量、下流への放流量、貯水容量の状況、水位予想を定期的に連絡を取り合う体制である。

さらに、ダム下流河川にて、はんらんなど重大な被害が想定される場合などには、市長とダム管理所長が直接連絡を取り合う体制としている。



産業・経済

特定流通業務施設の立地可能エリアの拡大



鈴木 正実

Q 特定流通業務施設(注1)の立地可能エリア拡大の概要と意義は。

A 新たな高速交通ネットワーク整備に伴い、本市の広域物流拠点としての優位性が大幅に向上し、福島おおぞそうインター工業団地用地も残りわずかとなったため、特定流通業務施設が市街化調整区域内の民有地にも立地可能となるよう、開発許可基準の適用範囲を拡大した。

飯坂および福島西インターチェンジ
出入口ゲート、福島大笹生インターチェンジ出口を中



心に半径1キロメートルの範囲および指定路線に接道する事業用地とした。

福島イノベーション・コースト構想との連携



丹治 誠

Q 福島イノベーション・コースト構想との連携では、どのような産業の集積や研究開発拠点などの整備が見込まれるのか。

A 福島イノベーション・コースト構想では、福島ロボットテストフィールドなどを実証研究拠点とし、宇宙航空や医療、農林業などさまざまな分野の研究開発の推進が主に浜通り地方で実施されている。本市は、その玄関口として、高速交通網の利便性の高さや県立医科大学や福島大学など高等研究機関などの集積を生かし、その取り組みをサポートするとともに、関連企業の誘致や先端産業の集積につながる取り組みを進める。



福祉・健康

医療機関などの現状



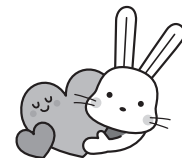
小松 良行

理解と今後の取り組み

Q 新型コロナウイルス感染症対応に苦慮する医療機関や福祉施設の現状理解と財政支援施策などの今後の取り組みは。

A 患者や利用者の減少や新型コロナウイルス感染症の病床確保などに苦慮され、従事者不足や感染リスク、施設内感染予防の徹底のための精神的負担に加え、感染防止対策業務などによる肉体的負担も大きくなっていくと認識している。

市独自の緊急支援策に加え、市民の皆様や企業の協力により、医療用資材を提供するなど継続的な支援を行っている。今後も感染状況や実態を踏まえ、適切な支援に努める。



医療従事者などへの定期的なPCR検査実施

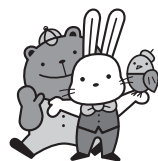


村山 国子

Q 感染リスクが高い医療・介護・教育・保育・学童関係従事者の定期的なPCR検査実施についての見解は。

A 感染拡大防止の観点から、濃厚接触者以外にも必要に応じ幅広く検査を実施している。クラスターや家族内感染を防ぐため、症状の有無に関わらず対象を拡大、さらに予防的な観点から、福祉施設従事者を対象に、感染が拡大している地

域の方との接触があったなどの相談や必要に応じてPCR検査などを実施した。今後も、感染者を早期に探知し、クラスターや重症化を防ぐため、医療や介護従事者に対し、必要に応じて検査を実施する。



新型コロナウイルス感染者増加に備えた医療体制の確立



高木 直人

Q 今後の新型コロナウイルス感染者の増加に備え、簡易検査の導入などにより、感染が疑われる方が一般の病院ですぐにPCR検査を受けられるような医療体制の確立が必要では。

A 国が示した次のインフルエンザ流行に備えた体制整備の方針を踏まえ、医療機関などの協議により、かかりつけ医で感染予防策を講じた上で、発熱患者を診療する体制を取ってきた。今後も、かかりつけ医のある方は、医療機関で新型コロナウイルス感染症の抗原検査も受けられるようにすることで、インフルエンザの検査と処方と同時に行うことができる。一方、かかりつけ医のない方は、発熱外来にて同時に検査と処方ができる機能としており、今後、1から2カ所増設し、医療体制の強化を図る。





市民の優しさが集う
保健福祉センターづくり
二階堂 利枝

Q 障がい者福祉サービ入事業所で制作した製品を展示販売するなど、施設の特性を鑑みた売店などを設置しては。

A コロナ禍の状況を踏まえつつ、施設の設置趣旨

でもある福祉サービスの充実に寄与するための販売需要などがあれば検討する。



まちづくり

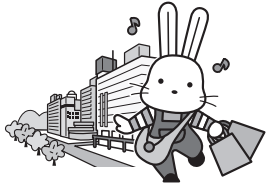


街なかの求心力を維持
齋藤 正臣

Q 再開発事業工期間中、福島駅前通りを定期的に歩行者天国にし、街なかの求心力を維持することが必要では。

A 福島駅前通りを定期的に歩行者天国にすることは、普段の

ぎわい創出にも有効な方策であり、イベントの企画や周辺店舗のセールスがしやすくなり、名物化するイベントも出てくると考える。



また、市民の皆様が出かけやすい面も出てくるため、今後、関係機関や地元商工団体などとの協議により、定期的な歩行者天国の具体的な企画の検討を進める。

教育・文化



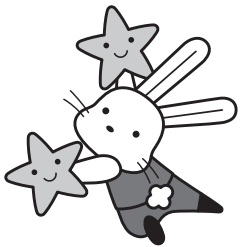
図書館本館の立地選定と
にぎわい創出の視点
川又 康彦

Q 図書館本館の立地選定の際には、これまで以上に駅前のにぎわい創出の視点が最も重要では。

A 図書館本館は、年間約10万人の利用者が見込まれるシンボリックな施設であり、一定規模のにぎわい創出が期待できる。

また、近年、単なる図書の閲覧や貸し出しだけでなく、にぎわい交流の場や生涯の学びを支える場など、さまざまな役割や機能が求められている。

今後、新しい図書館の整備用地選定にあたり、本市の特徴的な図書サービス網など基本的な本館機能が十分発揮できることに加え、望ましい立地条件を十分に考慮し、中心市街地におけるにぎわい創出の役割も視点に含め検討する。



市政概要を市議会

ホームページに掲載中！

議会事務局では、議員の議会活動に資するため、福島市の市政全般にわたる情報をまとめた「市政概要」を毎年作成しています。

福島市の沿革や市域の変遷、子育て推進事業から水道事業まで市民の皆様の生活に関わるさまざまな事業の取り組みや実績などを体系的に掲載しています。

市民の皆様にも市政の現状をご理解いただくため、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

QRコードから
ご覧ください。



議会報告会(第一部)・意見交換会
(第二部)を開催します！

★事前申し込み不要

★ご都合のよい会場へ

ぜひお気軽にご参加ください。

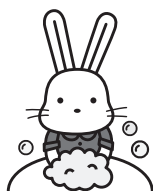
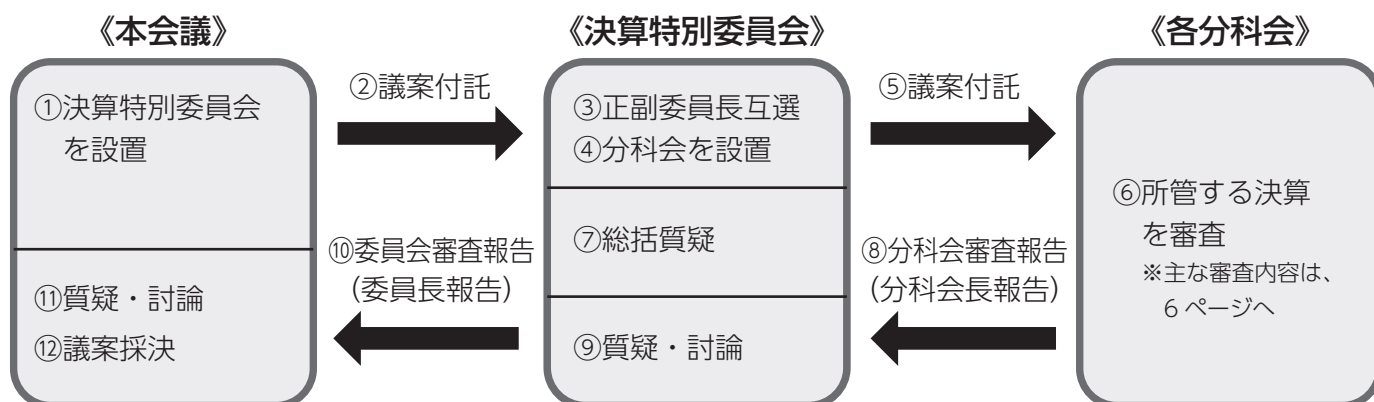
- 開催日時・会場 表紙をご覧ください。
- 報告内容
令和元年12月から令和2年9月までに開催された定例会議、緊急会議
- 意見交換会 テーマは設けません。
- 新型コロナウイルス感染症対策として必ずマスクを着用願います。
未着用の方は、申し訳ございませんが、入場をご遠慮いただきます。
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、中止になる場合があります。

○詳しくは福島市議会ホームページをご覧ください。福島市議会事務局へお問合せください。

令和元年度の決算を審査 ～決算特別委員会～

議長および監査委員2名を除く32名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）と新庁舎西棟建設調査特別委員会を単位とする各分科会において、令和元年度の決算などを審査しました。

決算審査の流れ



7月31日緊急会議の常任委員会の審査 ～新型コロナウイルス感染症関連緊急支援など～

7月31日の緊急会議において、各常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案の審査を行いました。各常任委員会に付託された議案の中から主な内容をお知らせします。

総務

◆避難所対策費

九州などの豪雨被災地の避難所運営や、新型コロナウイルス感染症予防と水害発生を想定した避難所開設・運営訓練の検証を踏まえ、迅速な避難所受け入れのため、収容人数が多い避難所の入り口に避難者の検温を目的としてサーマルカメラ（注2）を設置する。平時は学習センターや市役所本庁入口へ設置する。



（注2）サーマルカメラとは？
熱を検知するカメラ。サーマルカメラが映し出す映像はサーモグラフィと呼ばれ、人やモノに対して、温度が高いところは赤く低いところは青く表示され、表面の温度を計測することができる。



文教福祉

◆赤ちゃん応援特別定額給付金給付事業費

国の特別定額給付金（1人一律10万円）の支給対象外となっている新生児に対し、1人につき10万円を支給する。支給対象者は、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した赤ちゃんで、出生日時で福島市に住民登録がある子。受給権者はその保護者となる。

経済民生

◆古関裕而のまちおもてなし事業費

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による古関裕而記念館の入場制限などに伴う入館待機者が快適に過ごせるよう、古関裕而記念館前広場に休憩スペース・ドラマロケセット展示などを整備する。

常任委員会・決算特別委員会分科会

各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに決算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

庁内 Wi-Fi 環境整備事業費

本庁舎の全てのフロアで公衆無線 LAN(フリー Wi-Fi) サービスを拡充し、本庁舎利用者の利便性向上を図るとともに、各フロアで会議や面談などがオンラインで実施できる基盤を整備し、接触機会の削減を図る。

◆決算審査

東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業費

野球・ソフトボール競技の開催に向けた準備やホストタウン交流の推進、事前合宿の誘致、大会機運の醸成などの事業の実施を通じ、本市のスポーツの振興や教育・文化の向上、共生社会の実現、交流人口の拡大に努めた。



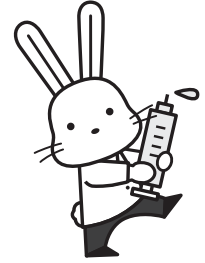
ベトナムのホストタウンに登録決定

文教福祉

◆議案審査

定期予防接種事業費

感染力が極めて高く、胃腸炎や下痢、発熱などを発症する感染症であるロタウイルスを定期予防接種の対象に新たに追加し、保護者の自己負担軽減と重症化予防を支援する。



開始時期は令和2年10月1日から、対象者は令和2年8月以降に出生した赤ちゃん。

◆決算審査

耐震補強事業費

小学校2校、中学校4校の屋内運動場耐震補強設計を実施した。また、小学校、中学校それぞれ2校の校舎等耐震補強工事、小学校8校、中学校1校の屋内運動場耐震補強工事を実施し、安全で安心な教育環境づくりを計画的に推進した。

経済民生

◆議案審査

窓口キャッシュレス決済事業費

コロナ禍における新しい生活様式に対応した ICT 化の推進および現金授受による接触機会の減少を図るため、市民課、窓口行政サービスコーナーおよび各支所にキャッシュレス決済機能を搭載したマルチ決済レジ端末を導入する。



◆決算審査

農業就業拡大推進事業費

兼業農家や親元就農者など、多様な形態の新規就農者へ支援を行い、円滑な経営継承と就農定着を促進した。

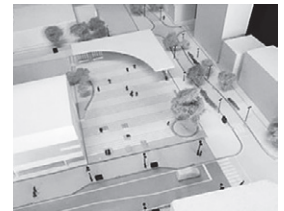
就農時初期費用の一部を助成する農業経営開始支援事業として3件120万円、新規就農者が農地を貸借または所有権を移転した場合に支援金を交付する農地流動化支援金に8件27万円の交付を行った。

建設水道

◆議案審査

新まちなか広場整備事業費

風格ある県都を目指すまちづくり構想のもと、中心市街地の活性化を図るため、新まちなか広場を整備し、屋根や緑地、ベンチや可動式ステージなどを設置する。また、パセオ自転車駐輪場に、トイレと備蓄倉庫を設置する。



新まちなか広場整備イメージ図

新まちなか広場が防災機能を有する広場として、にぎわい、市民の交流、回遊軸の拠点となるよう、令和4年度内のオープンを目指し整備を行う。

◆決算審査

洪水ハザードマップ活用事業費

水害の危険性を実感でき迅速な避難を促すため、特に早期水平避難が必要な区域かつ水害履歴のある地域に、洪水の浸水深や避難行動に関する情報を表示する標識の設置などを行った。

～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択
×→原案否決、不同意、不認定、不採択

7月31日緊急会議

[市長提出議案 / 1件]

区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計(第5号)	○



各議案の概要及び資料等は、QRコードからご覧ください。



9月定例会議

[市長提出議案 / 29件]

区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計(第6号)、福島市国民健康保険事業費特別会計、福島市介護保険事業費特別会計	○
令和元年度決算案件	福島市各会計歳入歳出決算認定、福島市水道事業会計決算認定及び剰余金処分、福島市下水道事業会計決算認定及び剰余金処分、福島市農業集落排水事業会計決算認定	○
条例改正案	福島市職員の給与に関する条例 福島市税条例 福島市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例 福島市債権管理条例等 福島市立学校条例 福島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 福島市営住宅等条例	○
人事案件	教育委員会委員任命(篠木雄司氏) 固定資産評価審査委員会委員選任(箭内祥恵氏、渡辺章氏、阿部寿子氏) 財産区管理委員選任(土湯温泉町財産区)(陳野原幸紀氏) 財産区管理委員選任(飯坂町財産区)(黒澤仁氏) 人権擁護委員候補者推薦(加藤昌永氏、半澤ハル子氏)	○
その他	市道路線の認定及び廃止 工事請負契約(福島消防署清水分署整備工事(建築本体)) 工事請負契約(十六沼公園サッカー場人工芝張替工事) 工事請負契約(中央市民プール改修工事2工区(建築工事)) 財産取得(消防ポンプ自動車) 財産取得(小型動力ポンプ付水槽車) 財産取得(高規格救急自動車) 財産取得(消防団 消防ポンプ自動車) 工事請負契約(令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体建築工事) 工事請負契約(令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体電気設備工事)	○

[委員会、議員提出議案 / 4件]

区分	件名	結果
条例等改正案	地方自治法第96条第2項の規定に基づき議会の議決すべき事件を定める条例 福島市議会会議規則	○
意見書案	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 東京電力福島第一原子力発電所構内保管の多核種除去設備等処理水の処分に関する意見書	○

[請願・陳情 / 8件]

区分	件名	結果
請願	東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルプス処理水)の海洋放出に反対する意見書提出方について	×
	トリチウム汚染水の海洋放出に反対する意見書提出方について	×
	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書提出方について	×
陳情	東京電力福島第一原発構内に保管されている「多核種除去設備等汚染処理水」の処分に関する意見書提出方について	×
	多核種除去設備等処理水の管理保管に関する意見書提出方について	×
	保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に関することについて	×
	保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に関することについて	×

常任委員会の活動をお知らせします

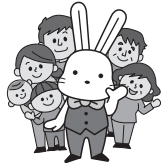
市議会では、市の事務に関する調査、検証を行っています。令和2年9月18日の本会議では、これまでの調査結果を各常任委員長が報告し、全会一致で承認されました。同日、提言書として取りまとめたものを市長へ提出しました。

総務

◆調査テーマ：人口減少等の社会変化を見据えた持続可能な行政の在り方に関する調査

【令和元年10月～令和2年8月】

人口減少局面に突入し、今後生産年齢人口も減少し続けることによる労働力不足が危惧されると同時に、AI、RPAなどのICTが飛躍的に発展を遂げるなど、行政を取り巻く環境も変化している状況を捉え、様々な変化に対応していくための将来を見据えた、効率的かつ持続可能な行政運営に資するため、調査を行った。



文教福祉

◆調査テーマ：健都ふくしま実現に向けた健康づくりの取組に関する調査

【令和元年10月～令和2年8月】

食生活、運動習慣などを原因とする生活習慣病に起因する急性心筋梗塞や脳梗塞による死亡率が全国でも非常に高い本市の現状を喫緊の課題と捉え、調査を行った。

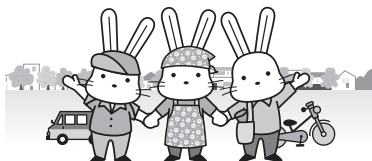


経済民生

◆調査テーマ：古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査

【令和元10月～令和2年8月】

本市の名誉市民である古関裕而氏とその妻、金子氏をモデルとした連続テレビ小説が令和2年3月30日より放送開始となり、全国的に古関氏と本市への関心が高まっている状況を追い風として、本市の交流人口の拡大とまちなかのにぎわい創出につながる施策が必要であることから調査を行った。



各常任委員会の委員長報告の全文はQRコードからご覧ください。

主な提言内容

- RPA等、ICTの導入にあたっては、各所属の業務の分析などにより技術の導入に適した部署、業務を見極めて、効果的な導入を図るべきである。
- 人口減少により労働力が不足することが見込まれる中、ICTの活用で単純な事務作業を自動処理することにより、職員でなければならない業務に職員が注力することができる体制の構築等、問題意識をより明確にし、部局横断により将来あるべき行政運営の形を見据え、計画的なICTの導入を進めるべきである。

主な提言内容

- 健康無関心層はもとより、健康を意識しながらも健康づくりを実践するきっかけが少ない働き盛り世代への対策も考慮し、ストレス解消による心の健康づくりも含めて、子供から大人まで楽しみながら健康になることを目指した施策、そして、健康づくりを実践する意欲を高めるための付加価値を付けた施策を実施することで、さらなる健康意識の啓発を図るべきである。
- 現状の推進体制の中において、より幅広く健康づくりに携わる地域のリーダー的人材を育成するとともに、各地区の健康づくり推進組織を基本とした気軽に活動できる組織を市内全地区に早急に構築し、市民の自主的な健康づくりを推進していくべきである。

主な提言内容

- 古関氏の名を冠した作曲や編曲などのコンクールを創設し、市内外の音楽家に幅広く参加していただくことで、本市ゆかりの音楽家として成功するきっかけをつくり、人材の育成につなげていくべきである。
- 音楽によるまちづくりの浸透には継続的な取組が必要なことから短期的な施策に加えて、音楽文化の振興を図る長期的なビジョンを持ち、行政と市民、団体などが協働で目指すまちづくりの方向性を示すべきである。



建設水道

◆調査テーマ：道路の効率的な維持管理・安全対策に関する調査

【令和元年10月～令和2年8月】

本市道路の急速な老朽化の進行が懸念されていること、道路上の危険箇所の把握などの安全対策も急務となっていることから、人口減少やそれに伴う税収減少といった社会変化を踏まえ、自治体の限られた財源や人員の中で、本市の道路を効率的に維持管理し、安全で安心な道路環境を戦略的に維持していくことが重要であると捉え、調査を行った。

主な提言内容

- 限られた道路予算の中で、市民の理解を得ながら道路に対する要望に的確に対応していくためには、市民への明確な説明が可能となるよう、効果的な修繕の実施に向けた優先順位の考え方について検討し対応すべきである。
- 道路維持管理業務におけるICTの導入について、先駆的事例を研究し、費用対効果も考慮しながら、本市に必要な手法を導入すべきである。



新庁舎西棟建設調査特別委員会

9月18日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行いました。

新しい西棟の中に整備される議場や傍聴席など議会フロアについて報告を行いました。

傍聴席については、傍聴される方の見やすさを考慮した配置とするとともに、障がいのある方、親子連れなどさまざまな方々に不自由なく傍聴していただけるよう配慮することに加え、新しい西棟が複合市民施設であるメリットを生かし、放送設備の配置などにより多様なスタイルでの傍聴が可能となる整備を求めました。

～9月定例会議では、以下の議案を審査しました～

- ◆令和元年度福島市各会計歳入歳出決算認定の件



新庁舎西棟建設調査特別委員会の活動状況や委員長報告の全文は、QRコードからご覧ください。



あなたの写真を市議会だよりの表紙に!?

【Instagram】わくわくする福島市の写真は #wakufuku で!

#wakufuku をつけて投稿いただいた画像の中から市議会だよりの表紙に使用させていただきます場合があります。ぜひご投稿ください。

#wakufuku とは?

わくわくする福島市の写真をInstagramに投稿してほしい!そんな願いから生まれたハッシュタグです。

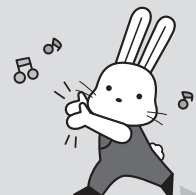
詳しくはQRコードからご覧ください。

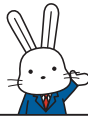


ICT活用検討会を設置しました

福島市議会におけるタブレット端末の導入にあたり、タブレット端末の活用およびペーパーレス化の推進に関して検討を行います。

- 座長 尾形 武 (真結の会)
副座長 梅津 一匡 (社民党・護憲連合)
委員 高木 直人 (公明党)
根本 雅昭 (真結の会)
佐原 真紀 (市民21)
小熊 省三 (日本共産党)
黒沢 仁 (真政会)





予定価格が1億5,000万円以上の工事請負契約の締結には、議会の議決が必要です。

9月 定例会議

～初日に議案を先議～

早期の工事着手のため、2件の工事請負契約の議案を9月1日の開会日に先議しました。市長の提案理由の説明後、所管する常任委員会による審査を経て、同日、全会一致で原案のとおり可決しました。

先議した工事請負契約

- 令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業 本体建築工事
- 令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業 本体電気設備工事

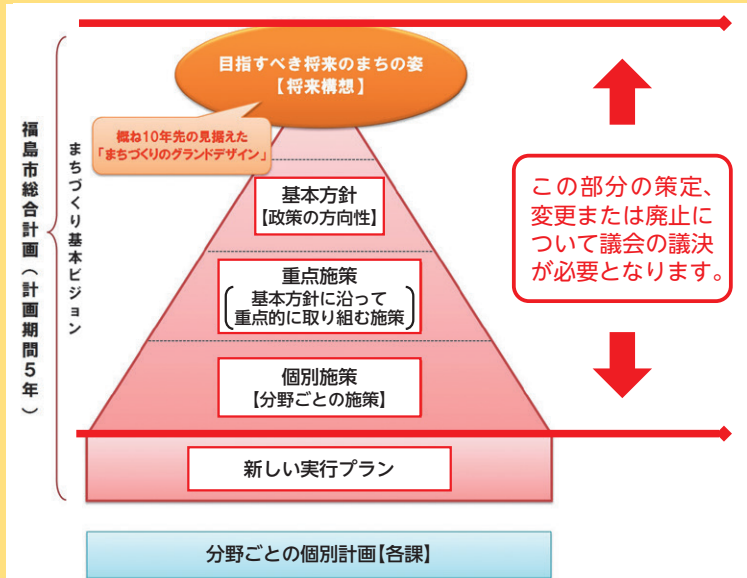


地域振興施設「道の駅」イメージ図

総合計画の策定にあたり、議会の議決を必要とする範囲を定めました。

議会では9月定例会議最終日に、地方自治法第96条第2項の規定に基づき、議会の議決すべき事件を定める条例の改正案を提出し、全会一致で可決しました。

現在策定を進めている第6次福島市総合計画は、市が目指すべき将来のまちの姿（将来構想）を実現するため、長期的な展望のもと、まちづくりの基本的な方向性などを示すもので、市のまちづくりに関する最も重要な計画です。



12月定例会議予定

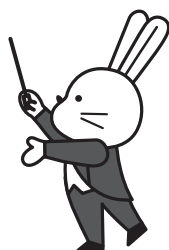
日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議 (定例日)	2 休会 (議案調査)	3 休会 (議案調査)	4 休会 (議案調査)	5
6	7	8 本会議 (一般質問)	9 議会運営委員会	10 休会 (議案調査)	11 常任委員会	12 議会運営委員会
13	14 常任委員会	15 休会 (事務整理)	16 議会運営委員会	17 休会 (議案調査)	18 休会 (議案調査)	19 本会議 (採決等)

一般質問など本会議の録画
中継、本会議中のライブ配信
は、QRコードからご覧ください。



- ◆本会議は午前10時から開会予定です。
- ◆日程、開会時間は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局（☎525-3776）までお問い合わせください。
- ◆12月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、12月2日(水)午前11時です。

市議会のHPは
QRコードから



◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。
〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520
福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>
発行：福島市議会 編集：広報委員会

